

政策	04 安全・安心	戦略						
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保	具体的施策						
開始年度	昭和42年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公共街路灯（道路照明灯）  
 （令和3年度より指標を幹線道路延長から公共街路灯基数に変更）

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	公共街路灯基数	基	187.38	99	3,470	3,470
対象指標 2	更新が必要な基数	基	0	0	39	36

手段（事務事業の内容、手法）

定期的な点検の結果に基づき、損傷度などを踏まえ更新する。  
 社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6/10）

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	更新基数	基	63	27	39	36
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

公共街路灯の更新により、その機能の維持・向上と夜間における道路環境の向上が図られる。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	更新が完了した街路灯の割合	%	3,488	3,470	100	100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	55,316	72,523	34,880	0
正職員人件費 (B)		千円	3,075	3,052	1,521	0
総事業費 (A+B)		千円	58,391	75,575	36,401	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	・公共街路灯更新工事	・工事費	34,880 千円

**事業開始背景**

街路灯の老朽化に伴う更新のため事業が開始された。

**事業を取り巻く環境変化**

道路法第2条第2項に規定される道路附属物として一元的な管理を行うため、平成26年度より土木事務所道路管理課に事務を移管した。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	平成25～26年度に実施した道路照明設備点検の結果に基づき、これまで計画的に公共街路灯の更新を実施してきたもの。令和2年度には2巡目の点検を行い、当該点検結果に基づき、今後も計画的に公共街路灯の更新を実施していく。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	これまで国の社会資本整備総合交付金を活用し事業を実施してきており、概ね計画に沿って事業が進捗しているため。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由根拠	これまで国の社会資本整備総合交付金を活用し事業を実施してきており、これ以上のコスト削減は難しい。
	なし		

事業名：空家等対策推進事業

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保			具体的施策					
開始年度	平成30年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内全域の空き家

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市内全域の空き家（推計）	棟	300	300	300	300
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

空き家等がもたらす課題の解消に向け、空家等対策計画に基づき、所有者等の管理意識の醸成と関係団体との連携による発生抑制及び利活用の推進を図るとともに、空き家等対策の情報発信や相談体制の整備を行うほか、「江別市特定空家等解体補助金交付要綱」に基づき、特定空家等の除却・解体支援を行う。（対象：空き家の所有者等、補助金額：工事費用の3分の1、上限30万円）

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	空き家に関する相談・指導件数	件	83	94	168	112
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

危険空き家等への対応及び空き家等の利活用により、安全で安心な住環境を確保する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	管理不全な空き家の解消件数	件	35	9	12	11
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	872	3	135	1,784
正職員人件費 (B)		千円	9,224	14,495	13,693	17,090
総事業費 (A+B)		千円	10,096	14,498	13,828	18,874

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家等対策協議会の開催</li> <li>啓発パンフレットの作成等</li> <li>危険空家等への応急対応</li> <li>特定空家等の除却・解体支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家等対策協議会運営費：66千円</li> <li>啓発パンフレット作成経費：1千円</li> <li>危険空家等への応急対応資材費：48千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>
空家等をもたらす課題の解消に向け、空家等対策計画に基づき、発生抑制・適正管理の推進、特定空家等への対応、利活用の推進などの空家等対策を総合的かつ計画的に実施する
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
近年、人口減少や少子高齢化による家族構成の変化、住宅ストックの余剰等の社会情勢の変化等により、全国的に空家等が年々増加している。

<b>令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）</b>						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">江別市空家等対策計画（平成30年3月策定）に基づいて、空家等対策を推進している。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	江別市空家等対策計画（平成30年3月策定）に基づいて、空家等対策を推進している。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	江別市空家等対策計画（平成30年3月策定）に基づいて、空家等対策を推進している。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">空家等の管理意識の醸成を図り、関係団体等との連携を着実に進めることで、適正管理の推進や特定空家等への対応、利活用の推進などの空家等への対策を進める。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	空家等の管理意識の醸成を図り、関係団体等との連携を着実に進めることで、適正管理の推進や特定空家等への対応、利活用の推進などの空家等への対策を進める。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	空家等の管理意識の醸成を図り、関係団体等との連携を着実に進めることで、適正管理の推進や特定空家等への対応、利活用の推進などの空家等への対策を進める。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">予算措置は、空家等対策協議会運営費、危険空家等への応急対応資材費、特定空家等解体補助金などであるため、予算削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	予算措置は、空家等対策協議会運営費、危険空家等への応急対応資材費、特定空家等解体補助金などであるため、予算削減は難しい。	なし	
ある	理由 根拠	予算措置は、空家等対策協議会運営費、危険空家等への応急対応資材費、特定空家等解体補助金などであるため、予算削減は難しい。				
なし						

事業名：河川等維持事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心	戦略						
取組の基本方針	02 地域防災力の向上	具体的施策						
開始年度	昭和57年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市が管理する河川、調整池及び集水路

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	準用河川及び普通河川数	河川	25	25	25	25
対象指標 2	調整池数	ヶ所	27	27	27	27

手段（事務事業の内容、手法）

発生した不良箇所を解消するための維持工事等を行う。  
 1) 法面補修・浚渫工事  
 2) 管理用道路補修工事  
 3) 調整池における防護柵補修工事など

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	河川・調整池の補修等工事件数	件数	10	8	7	8
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

本来発揮すべき機能を維持する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	河川・調整池の不良箇所数	件数	10	8	7	8
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	7,622	9,805	29,968	25,400
正職員人件費 (B)		千円	2,306	7,629	7,607	7,768
総事業費 (A+B)		千円	9,928	17,434	37,575	33,168

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	河川法面復旧にかかる現地調査、設計委託 準用河川、普通河川、集水路の床ざらい工事 河川の護岸工 調整池フェンスの更新	屯田川法面復旧調査設計委託等	11,220千円
		床ざらい工事（明野川ほか）	13,068千円
		護岸補修工事（大沢川）	1,947千円
		調整池フェンス設置工事（上江別2号他）	2,202千円

<b>事業開始背景</b>
床ざらい等により河川、集水路の流下能力を確保し、河川等の氾濫を防ぐ。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
近年、気候変動により増大する降雨に対応するため、より適切な河川管理が求められている。

<b>令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）</b>						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">概ねよていどおり進捗している。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	概ねよていどおり進捗している。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	概ねよていどおり進捗している。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">補助事業や起債事業を活用することにより、成果向上余地は大きい。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	補助事業や起債事業を活用することにより、成果向上余地は大きい。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	補助事業や起債事業を活用することにより、成果向上余地は大きい。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">近年、資材単価、労務単価が上昇しているため、コスト削減は見込めない。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	近年、資材単価、労務単価が上昇しているため、コスト削減は見込めない。	なし	
ある	理由 根拠	近年、資材単価、労務単価が上昇しているため、コスト削減は見込めない。				
なし						

事業名：排水機場維持管理事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心	戦略						
取組の基本方針	02 地域防災力の向上	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

排水機場

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	排水機場数	箇所	18	18	18	18
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

定期的に点検・整備・巡回を実施し、施設を健全に維持し、大雨時の緊急運転に備える。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	維持管理経費	千円	61,751	65,795	67,543	73,657
活動指標 2	施設巡回・点検回数	回	9	9	9	9

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

水害を防止する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	61,751	65,795	67,543	73,657
正職員人件費 (B)		千円	4,612	6,103	6,086	6,214
総事業費 (A+B)		千円	66,363	71,898	73,629	79,871

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）			
3年度	排水機場（18機場）の点検整備、維持修繕、緊急運転	管理委託等	54,334	千円	
		緊急運転	3,005	千円	
		燃料費	146	千円	
		光熱水費	5,060	千円	
		施設等修繕費	2,152	千円	

**事業開始背景**

大雨時に要する内水排除施設（排水機場）の維持管理。

**事業を取り巻く環境変化**

近年、気候変動により増大する降雨に対応するため、適切な内水排除施設（排水機場、集水路）の維持管理が求められているが、老朽化による修繕費の増加が見込まれている。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	▶	点検により予防保全を行っており、概ね予定どおり進捗している。
	どちらかといえば上がっている			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	施設の老朽化が著しく現状の予算では今以上の成果をあげることは難しい。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	▶	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に最低限のコストで施設の維持管理を行っている。</li> <li>・今後老朽化が更に進み、修繕費が増加することが予想される。</li> </ul>
	なし			



事業名：江別河川防災ステーション管理経費 土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別河川防災ステーション

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別河川防災ステーションの維持・管理を行う。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	開設日数	日	307	307	308	308
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設が適切に管理運営され、災害時に防災拠点として利用される。また、平常時には利用者が多目的に利用できるとともに、河川への防災意識の向上が図られる。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	不具合件数	件数	4	0	1	0
成果指標 2	利用者数	人	86,641	74,405	76,872	74,000

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	21,830	21,759	22,813	24,305
正職員人件費 (B)		千円	3,844	4,577	4,564	4,661
総事業費 (A+B)		千円	25,674	26,336	27,377	28,966

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）				
3年度	江別河川防災ステーションの維持管理	館内管理業務	16,125	千円		
		燃料費	1,329	千円		
		光熱水費	3,899	千円		
		施設等修繕費	706	千円		

事業開始背景
水防活動の拠点及び平時には防災意識向上を目的に建設した。
事業を取り巻く環境変化
平成16年度からは、各種イベントが開催され平時の利活用が進んでいる。

令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）	
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？
<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p><b>上がっていない</b></p>	<p>理由 根拠</p> <p>来客数は、コロナウイルスの影響で減少している。</p>
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？
<p>成果向上余地 大</p> <p><b>成果向上余地 中</b></p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由 根拠</p> <p>既に一定の利用客があり、施設規模や地理的条件などから冬期間の集客を考慮すると、更なる成果向上は難しい。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？
<p>ある</p> <p><b>なし</b></p>	<p>理由 根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既に最低限のコストで施設運営している。</li> <li>・施設の老朽化が進んできていることから、今後、修繕費が増加することが予想される。</li> </ul>

事業名：耐震化推進支援事業

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市耐震改修促進計画に基づく民間住宅の所有者及び、居住者又は居住予定者

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	対象建築物数	戸	4,656	4,656	4,656	4,656
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

同計画に基づき耐震化を促進するために木造住宅等の無料簡易耐震診断を実施する他、「江別市木造住宅耐震改修等補助金交付要綱」により専門家が行う耐震診断、補強設計及び耐震改修工事の費用の一部を補助する。補助対象：昭和56年5月31日以前に着工された木造戸建て住宅等。補助率：耐震診断＝3分の2（上限8万9千円）、補強設計＝3分の2（上限10万円）、耐震改修＝23%（上限82万2千円）。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	920	0	0	2,289
活動指標 2	無料耐震診断を行った件数	件	1	1	2	10

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

現行の耐震基準に満たない既存建築物の耐震性能の向上を図り、地震による建築物の倒壊被害から市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	補助利用率	%	40.19	0	0	100
成果指標 2	補助金を受けた件数	件	2	0	0	9

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	942	17	4	2,308
正職員人件費 (B)		千円	7,687	18,310	8,368	10,875
総事業費 (A+B)		千円	8,629	18,327	8,372	13,183

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料簡易耐震診断</li> <li>・耐震化支援制度のPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規耐震パンフレットの製作・印刷 4千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>
江別市耐震改修促進計画に基づき、建築物の耐震化を促進するため、対象市民を支援する。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
令和4年2月に第3次江別市耐震改修促進計画を策定し、老朽化した建築物の建替・除却等の促進などの新たな施策を位置づけた。

<b>令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）</b>						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">補助制度の利用は無かったが、耐震性が不十分な住宅の建替や除却による耐震化が進んでいることから成果が上がっている。</td> </tr> <tr style="background-color: #cccccc;"> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	補助制度の利用は無かったが、耐震性が不十分な住宅の建替や除却による耐震化が進んでいることから成果が上がっている。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	補助制度の利用は無かったが、耐震性が不十分な住宅の建替や除却による耐震化が進んでいることから成果が上がっている。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">補助制度の対象拡大について検討を進めており、また、更なる制度周知を図ることにより、成果の向上が見込まれる。</td> </tr> <tr style="background-color: #cccccc;"> <td>成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	補助制度の対象拡大について検討を進めており、また、更なる制度周知を図ることにより、成果の向上が見込まれる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	補助制度の対象拡大について検討を進めており、また、更なる制度周知を図ることにより、成果の向上が見込まれる。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">国の交付金及び北海道の補助金を活用して事業を実施しており、これ以上のコスト削減は困難。</td> </tr> <tr style="background-color: #cccccc;"> <td>なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	国の交付金及び北海道の補助金を活用して事業を実施しており、これ以上のコスト削減は困難。	なし	
ある	理由 根拠	国の交付金及び北海道の補助金を活用して事業を実施しており、これ以上のコスト削減は困難。				
なし						

事業名：耐震改修促進計画策定経費

建築指導課

政策	04 安全・安心	戦略	
取組の基本方針	02 地域防災力の向上	具体的施策	
開始年度	令和 3年度	終了年度	令和 3年度
	区分1	新規	区分2 補助 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に現存し、旧耐震基準で建築され、耐震性が不足又は未確認である全ての建築物。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1 対象建築物数	戸	0	0	4,106	0
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、手法）

建築物の耐震化に関する次期計画を策定する事で計画的に耐震化を推進し、建築物の倒壊等による市民の生命及び財産への被害を未然に防止する。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1 検討会議開催回数	回	0	0	3	0
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

耐震化に関する目標、各種施策等を定めた次期「江別市耐震改修促進計画」を策定し、耐震化を推進する。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1 計画策定数	件	0	0	1	0
成果指標 2					

事業費の推移	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)	千円	0	0	3,465	0
正職員人件費 (B)	千円	0	0	7,607	0
総事業費 (A+B)	千円	0	0	11,072	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度	・令和2年度で終了する江別市耐震改修促進計画の次期計画策定にあたって、現計画を検証し、今後の耐震化の動向を推計するとともに、北海道の計画と整合を図るものとする。策定に必要な調査、推計、資料作成については、専門業者に委託する。	・耐震改修促進計画策定業務委託 3,465千円

事業開始背景
第2次江別市耐震改修促進計画が令和2年度で終了することから、次期計画を策定する。
事業を取り巻く環境変化
建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本方針の改正及び北海道耐震改修促進計画の改定が行われた。

令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）							
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？							
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="3">第3次江別市耐震改修促進計画を策定した。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	▶	第3次江別市耐震改修促進計画を策定した。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	▶				第3次江別市耐震改修促進計画を策定した。	
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="3">令和3年度単年度事業。</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	令和3年度単年度事業。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	▶				令和3年度単年度事業。	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？							
コスト	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">ある</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="2">令和3年度単年度事業。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	▶	令和3年度単年度事業。	なし	
ある	理由 根拠	▶				令和3年度単年度事業。	
なし							

事業名：新栄団地建替事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤	戦略						
取組の基本方針	01 市街地整備の推進	具体的施策						
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅（新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部）

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	340	268	281	277
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部を新栄団地に建替・集約する。  
 新栄団地建替の設計、工事、既存住宅の用途廃止等を実施する。  
 R2～R3 E棟建設，R4～R5 F棟建設

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	建設戸数	戸	48	0	49	0
活動指標 2	除却戸数	戸	4	72	0	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

老朽化し、狭隘な住宅を建て替えることにより、入居者が安全に安心して暮らせるようにする。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	団地改善率	%	56.4	71.6	85.8	87
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	912,293	466,341	924,984	382,825
正職工人件費 (B)		千円	6,918	6,866	7,607	7,768
総事業費 (A+B)		千円	919,211	473,207	932,591	390,593

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	・新栄団地E棟建設工事（建築工事・各種工事） 【R2～R3継続事業】	新栄団地E棟建設工事 886,181千円	

<b>事業開始背景</b>
良質な市営住宅の供給を図るため、「江別市営住宅長寿命化計画」を策定し、市営住宅の建替事業を推進することとした。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
計画通りに市営住宅の建替事業を実施している。

<b>令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	理由根拠	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p> <p>新栄団地の建替が進むことで団地改善率が向上し、市民の安全・安心な生活が保たれる。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	理由根拠	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> <p>今後も計画に基づき事業を進めることで、成果がより向上する。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	理由根拠	<p>ある</p> <p>なし</p> <p>計画段階から実施段階に移行し、建設コストはかかるが、効率的・効果的な建設手法等を検討し、必要最小限となるように努めている。</p>



事業名：公園管理事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤	戦略						
取組の基本方針	01 市街地整備の推進	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する都市公園

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市が管理する都市公園数	箇所	230	232	232	231
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

- ・公園の清掃や草刈等の維持管理及び管理運営を行う。
- ・屋外体育施設の維持管理を指定管理者に委任する。
- ・公園施設長寿命化計画に基づき、遊具等の改築を国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2）

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	指定管理料（R2・R3実績は市管理経費を含む）	千円	155,279	172,943	183,026	180,485
活動指標 2	改築遊具・施設数	施設	7	7	14	36

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・管理運営を適切かつ効率的に行い、市民が快適で安全に憩える公園とする。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	自主事案件数（指定管理者）	件	17	5	4	9
成果指標 2	累計改築遊具・施設数	施設	19	26	40	76

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	270,298	374,062	377,991	441,545
正職員人件費 (B)		千円	24,214	24,032	29,668	30,295
総事業費 (A+B)		千円	294,512	398,094	407,659	471,840

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園草刈や清掃等の維持管理業務</li> <li>・指定管理者による屋外体育施設の管理運営</li> <li>・公園施設長寿命化計画に基づく遊具等の改築及び修繕</li> <li>・アダプトプログラム</li> <li>・樹木管理（剪定、伐採等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持補修関係委託料</li> <li>・指定管理料</li> <li>・改築関係工事費</li> <li>・維持補修関係工事費</li> </ul>	<p>154,911千円 18,521千円 149,572千円 9,370千円</p>

**事業開始背景**

市が管理する都市公園の維持管理業務については、平成20年度より指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上や管理経費の縮減を図っている。

**事業を取り巻く環境変化**

- ・市及び指定管理者は公園施設の安全対策を重点的に行っているが、その反面、公園管理に関する市民要望は年々多様化してきている。厳しい財政状況の下、市民のニーズに応えることが難しい状況となっている。
- ・遊具等の公園施設の改築・更新については、国の補助事業を導入し、公園施設長寿命化計画に基づいた施設改築を実施している。
- ・遊具改築における新規遊具の選考において、近隣小学校へのアンケート調査を実施し、利用者のニーズを踏まえた改築を実施している。
- ・遊具修繕に伴い使用禁止となる遊具については、修繕完了予定時期を明示するなど、利用者への修繕スケジュール周知を実施している。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	指定管理制度導入により、公園管理業務の成果が徐々に表れている。また、平成27年度より公園施設長寿命化計画に基づいた施設改築を進めている。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	コストの増加が見込まれるが、老朽化した遊具・施設の改築数を増加することにより、公園利用の促進や公園利用環境の向上が図られる。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由根拠	効率的な維持管理を実施しており、更なるコスト削減は難しい。
	なし		

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する都市公園

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1 市が管理する都市公園数	箇所	230	232	232	231
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、手法）

- 公園施設長寿命化計画に基づき、公園の再整備を国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2）
- 整備内容については地域の子供達や自治会の参加によるワークショップ会議等により計画する。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1 再整備公園数	箇所	1	1	1	1
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- 市民協働のシンボルとして地域に親しまれる公園にする。
- 公園再整備に併せて、公園施設のバリアフリー化を図ることで、誰もが利用しやすい公園にする。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1 累計再整備公園数	箇所	16	17	18	19
成果指標 2					

事業費の推移	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)	千円	40,209	44,851	49,298	57,532
正職員人件費 (B)	千円	6,150	6,103	7,607	7,768
総事業費 (A+B)	千円	46,359	50,954	56,905	65,300

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふくじゅそう公園再整備工事（豊幌美咲町） 面積：約 0.25ha 内容：遊具更新、バリアフリー化等</li> <li>公園再整備に向けたワークショップ開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備工事費 43,090千円</li> <li>一般委託料 6,194千円</li> </ul>

<b>事業開始背景</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域からの修繕要望が高く、通常の維持管理だけでは対応できない身近な公園を対象として、平成2年度から「子供たちが参加できる公園づくり事業」として、事業着手した。</li> <li>・平成15年度から「市民参加による公園づくり事業」として、事業を継続中である。</li> </ul>	
<b>事業を取り巻く環境変化</b>	
<p>当初は市単独費により事業を実施していたが、平成25年度に策定した「公園施設長寿命化計画」に基づき、平成26年度より、社会資本整備総合交付金「都市公園安全・安心対策事業」にて国の補助を受けて実施している。</p>	

<b>令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）</b>		
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠 年1公園ではあるが、利用者が多い身近な公園を対象に行っている。
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠 コスト増加が見込まれるが、1年あたりの再整備公園数を増加し、老朽化した公園のリニューアルを進めることにより、公園利用の促進や利用環境の向上が図られる。
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>		
コスト	ある	理由根拠 既存施設の利活用や、国の補助事業を活用するなど、コストの低減を図ってきており、更なるコストの削減は難しい。
	なし	

事業名：町名板再整備事業

【事業番号 323】

開発指導課 開発指導係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策				
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民  
・来訪者

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,777	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

1. 市街化区域内の角地や町名界にある建物に所有者の同意を得た後、街区型町名板を貼付  
2. 江別の顔づくり事業により新たに整備された交差点に信号機型町名板を整備

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	街区型町名板整備数	枚	345	71	44	101
活動指標 2	信号機型町名板整備数	ヶ所	1	1	1	2

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民及び市外来訪者等に町名や地番をわかりやすい状態にする

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	所在確認の問い合わせ件数	件	0	0	0	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	1,646	1,021	963	2,022
正職員人件費 (B)		千円	3,844	5,340	5,325	5,438
総事業費 (A+B)		千円	5,490	6,361	6,288	7,460

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	1. 街区町名板 ～住民及び来訪者の利便性を図る ・市民要望による街区町名板の貼付 ・未貼付箇所等現況調査及び意向確認、貼付 2. 信号機型町名板 ～住民及び来訪者の利便性を図る ・信号機型町名板の整備	・街区型町名板整備費 ・信号機型町名板整備費	257千円 706千円

**事業開始背景**

町名板の老朽化が著しく、市民や来訪者の利便性の向上を図る必要が生じたため。

**事業を取り巻く環境変化**

信号機型町名板の整備は計画通り進み、現在、整備は完了した。しかし、信号機型町名板の設置から相当期間が経過したものがあため点検を行い、道路利用者の安全を確保する必要が生じた。  
 なお、今年度は江別の顔づくり事業関連により、必要となった交差点の信号機に信号機型町名板を整備するため、信号機型町名板等点検は実施しない。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	▶	道案内の問い合わせ件数が減少しているため。
	どちらかといえば上がっている			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	▶	現在、年次計画に基づき整備を進めているため、今後の整備により成果が上がることを期待できる。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由根拠	▶	平成24年以降、費用対効果を検証した、より耐久性のある材料を採用し、コストの削減を図っているため。
	なし			

事業名：団地集会所維持管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤	戦略						
取組の基本方針	01 市街地整備の推進	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

団地集会所

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	施設数	箇所	5	5	5	5
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

団地集会所の維持・管理

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	利用可能日数	日	308	307	308	308
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

集会所利用者が安心して利用できる。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	集会所使用件数	件	369	104	87	150
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	2,820	2,693	2,782	2,831
正職員人件費 (B)		千円	769	763	761	777
総事業費 (A+B)		千円	3,589	3,456	3,543	3,608

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	団地集会所の維持管理	・ 集会所管理人報酬	1,800千円
		・ 集会所燃料費	84千円
		・ 集会所光熱水費	593千円

**事業開始背景**

江別市営住宅入居者の共同の福祉のために整備した集会所の適正な管理を図る。

**事業を取り巻く環境変化**

入居者相互の親睦の場として使用されている。  
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、カラオケなどの一部の使用を制限した。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、カラオケなど一部の使用を制限しているため
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	主な使用者は市営住宅の入居者であり、成果指標が向上する余地は小さい。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？

コスト	ある	理由根拠	築年数の経過している集会所が多く、必要最小限の費用で維持している。
	なし		



事業名：市営住宅管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤	戦略						
取組の基本方針	01 市街地整備の推進	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅入居者

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市営住宅入居戸数	戸	940	919	908	1,000
対象指標 2	市営住宅入居者数	人	1,802	1,735	1,724	2,000

手段（事務事業の内容、手法）

市営住宅の家賃決定、入居者募集、選考及び決定、家賃及び敷金の徴収、徴収猶予及び減免、模様替え等の承認、明け渡し請求などの処分、入居相談、世帯人数と住戸規模のミスマッチ解消の実施。施設の維持保全及び一般修繕。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	維持修繕受付件数	件	525	592	580	550
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市営住宅が適切に管理され、入居者が快適に生活できる（政策空家を除く）。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	入居率	%	79	77.4	75.2	84
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	51,066	51,791	53,819	54,713
正職員人件費 (B)		千円	13,068	12,969	13,693	13,982
総事業費 (A+B)		千円	64,134	64,760	67,512	68,695

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅の小規模修繕</li> <li>住宅設備の保守点検</li> <li>家賃の決定及び徴収・滞納整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅の修繕費 18,972千円</li> <li>保守点検等の委託料 16,064千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的として整備した市営住宅の適正な管理を図る。

**事業を取り巻く環境変化**

老朽化した住宅が多く、適正な維持管理を図る必要がある。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	築年数が経過し老朽化した住宅への入居希望が少ない。また、傷みが激しく、入居者を募集できない住宅が増えている。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	築年数が経過し老朽化した住宅が多く、緊急修繕の依頼（入居者負担を含む）が多い。また、改修には限度があり、浴室のない住宅への入居希望者は少ない。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	築年数が経過し老朽化した住宅が多く、修繕件数も増加傾向にある。必要最小限の修繕で対応しており、現状以上のコスト削減は困難である。
	なし		

事業名： 弥生団地大規模改善事業

【事業番号 6176】  
 建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤	戦略						
取組の基本方針	01 市街地整備の推進	具体的施策						
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅（弥生団地）

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	223	223	223	223
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

市営住宅長寿命化計画に基づき、弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	外部改修戸数	戸	24	24	24	0
活動指標 2	設備改修戸数	戸	24	0	48	24

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施することにより、入居者が安全に安心して暮らせる市営住宅を供給する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	団地改善率（改修戸数／延べ改修戸数）	%	54.1	58.9	73.3	78
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	111,602	92,253	164,241	25,000
正職員人件費 (B)		千円	769	763	761	777
総事業費 (A+B)		千円	112,371	93,016	165,002	25,777

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>弥生団地G棟外部改修工事（屋根改修、外壁改修、窓改修等）</li> <li>弥生団地E・F棟給水設備改修工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>弥生団地G棟外部改修工事 117,513千円</li> <li>弥生団地E・F棟給水設備改修工事 38,390千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>
良質な市営住宅の供給を図るため、「江別市営住宅長寿命化計画」を策定し、市営住宅の長寿命化を図ることとした。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
計画通りに市営住宅の長寿命化型改善事業を実施している。

<b>令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	理由根拠	<p>「江別市営住宅長寿命化計画」に基づき、長寿命化型改善を実施している。</p> <p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	理由根拠	<p>「江別市営住宅長寿命化計画」に基づき、長寿命化型改善事業を実施することにより、成果指標の向上が図られる。</p> <p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	理由根拠	<p>長寿命化型改善事業においては、国の補助があるものの、一時的なコストが増大することになる。住宅建物の長寿命化が図られることにより、長期的なコストの削減が図られる。</p> <p>ある</p> <p>なし</p>

事業名：道路景観づくり推進事業

【事業番号 260】  
土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤	戦略						
取組の基本方針	02 交通環境の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市内の道路
- ・違反広告物

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1 市内の国道・道道・市道実延長	km	862	864	864	865
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、手法）

- ・北海道屋外広告物条例に違反するはり紙、はり札及び立看板を除却する。
- ・広告主への除却指導（年数回）
- ・違反広告物の除却（年数回）
- ・石狩振興局へ除却数を報告（年2回）

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1 広告主への指導件数	件	1	2	9	5
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路の美観風致の維持、整然とした街並みとすることにより違反広告物を放置しづらくなる。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1 違反広告物の除却数	枚	565	84	137	100
成果指標 2					

事業費の推移	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)	千円	683	499	462	507
正職員人件費 (B)	千円	1,537	1,526	1,521	1,554
総事業費 (A+B)	千円	2,220	2,025	1,983	2,061

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広告主への除却指導</li> <li>・ 違反広告物の除却</li> <li>・ 石狩振興局へ除却枚数を報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軍手等の消耗品費 3千円</li> <li>・ 広告調査、除却委託経費 459千円</li> </ul>

<b>事業開始背景</b>
平成17年4月1日より、権限委譲により屋外広告物法に基づく事務を委任されたことからこの事業を開始している。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
道路の美観風致を維持するとともに、公衆に対する危害の防止を目的とした。現在、道からの交付金を基に事業を実施している。

<b>令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）</b>	
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>	
<b>成果動向及び原因分析</b> 上がっている どちらかといえば上がっている 上がっていない	<b>理由根拠</b> 違反広告物の総数が大幅に減少している。 （平成27年度以前の除却数は、1,000枚以上で最大2,444枚）
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>	
<b>成果向上余地</b> 成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小	<b>理由根拠</b> 市と市民が協力して除却することにより、違法屋外広告物に対する意識が高まり、原因者が屋外広告物を貼る行為が減少する。
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>	
<b>コスト</b> ある なし	<b>理由根拠</b> 違反広告物の減少に伴い、除却作業回数を減らしており、これ以上の削減は困難である。 （H31年度に年10回から年6回へ回数を減らし、コスト縮減を行った。）

事業名：大麻市営駐車場管理経費

【事業番号 270】  
土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標						
対象（誰、何に対して事業を行うのか）						
大麻市営駐車場						
指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）						
指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。						
指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	10,140	10,434	10,434	11,970
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
低廉な料金で駐車できる駐車場を確保することにより、駅周辺の路上駐車削減を図る。						
指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	年間延べ利用台数	台	45,538	27,389	33,609	33,000
成果指標 2	不具合件数（苦情・要望件数）	件	7	0	8	5

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	10,438	11,772	10,434	11,970
正職員人件費 (B)		千円	2,306	2,289	2,282	2,330
総事業費 (A+B)		千円	12,744	14,061	12,716	14,300

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	市営駐車場の運営管理を指定管理者に委託する。	・ 指定管理料	10,434千円

**事業開始背景**

昭和46年5月12日に新住宅市街地開発法に基づき譲与された駐車場を昭和46年7月15日より利用開始する。昭和53年6月20日に駐車場条例が制定される。その後昭和56年6月30日より有料化の開始。

**事業を取り巻く環境変化**

H18年度より指定管理者制度導入

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	➡	多くの市民に利用されており、駅周辺の路上駐車も見られない。
	どちらかといえば上がっている			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	➡	指定管理者の対応が良く利用者には好評であるが、駐車スペースに限りがあり、大幅な利用者増加は見込めない。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由根拠	➡	指定管理者制度を導入し、コスト削減を図っている。
	なし			



事業名：除排雪事業

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤	戦略						
取組の基本方針	02 交通環境の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公共除排雪対象の市道及び公共施設等

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1 市道総延長	km	835	837	837	838
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、手法）

ほぼ連続した降雪により、降り始めからの降雪量10cmを目安として、除雪作業を要すると認められる状況であるほか、断続的な降雪や吹き溜まり等で、交通障害が予想される場合に除雪作業を実施する。  
また、道路幅員の狭窄、路肩の雪堤状況等諸条件から総合的に判断し、運搬排雪作業を行う。  
自治会が主体で実施する排雪作業に対し、ロータリ除雪車（車輛のみ）とダンブトラック（車輛と運転手）を貸与し、支援を行う。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1 除雪延長	km	734	735	737	737
活動指標 2 自治会排雪延長	km	301	349	349	349

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

冬期間の円滑な道路交通網を確保する。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1 降雪・吹雪による交通止めとなった箇所数	箇所	0	0	2	0
成果指標 2 実施自治会数	自治会	83	104	104	104

事業費の推移	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)	千円	925,232	1,181,548	1,787,237	1,363,821
正職員人件費 (B)	千円	24,214	28,227	28,146	28,353
総事業費 (A+B)	千円	949,446	1,209,775	1,815,383	1,392,174

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>除排雪業務</li> <li>自治会排雪に係る作業車輛の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>除排雪業務 1,367,322千円</li> <li>自治会排雪に係る作業車輛の支援 317,823千円</li> </ul>

<b>事業開始背景</b>
冬期間の安全で円滑な道路交通の確保を目的に事業を開始した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
高齢化等に伴い除排雪への市民ニーズは増大する一方、事業者の人手不足等に伴い除排雪体制の維持が難しくなっている。

<b>令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）</b>	
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>	
<b>成果動向及び原因分析</b> 上がっている どちらかといえば上がっている 上がっていない	<b>理由根拠</b> 本事業により冬期間の市内交通ネットワークが確保されているほか、生活道路の排雪支援も着実に実施されているため。
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>	
<b>成果向上余地</b> 成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小	<b>理由根拠</b> 新規宅造区域への自治会排雪の導入余地があるため。
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>	
<b>コスト</b> ある なし	<b>理由根拠</b> 冬期間の市民生活を支える最も基礎的な事業であり、今後とも現状の除排雪体制の維持が重要であるため。

事業名：私道除雪補助金

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般通行の用に供する私道

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	私道除雪申請延長	km	1.54	1.52	1.31	1.52
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

自治会が行う私道除雪について、市が算定する補助基準額の2分の1以内の額を自治会に補助する。  
 (根拠：私道整備事業補助規則)

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1,032	1,026	933	1,315
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

私道における冬期間の交通確保を図る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	私道除雪延長	km	1.54	1.52	1.31	1.52
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	1,032	1,026	933	1,315
正職員人件費 (B)		千円	384	381	380	388
総事業費 (A+B)		千円	1,416	1,407	1,313	1,703

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	・私道除雪補助金 9自治会 L = 1.31 km	・私道除雪補助金	933 千円

**事業開始背景**

一般の利用に供されている私道について、冬期間の道路交通の確保を目的として事業を開始した。

**事業を取り巻く環境変化**

沿道利用者の減少等により、一部の自治会では実施延長が減少している。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	▶	自治会からの申請された延長を完遂しているため。
	どちらかといえば上がっている			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	すでに必要とされている自治会に浸透しているため。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	▶	制度上、既にコストを最低限とする内容であるため。
	なし			

事業名：不法投棄対策事業（市道）

【事業番号 747】  
土木事務所道路管理課維持係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市道総延長	km	837	837	837	838
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

市道に不法投棄された廃棄物について、巡回を行い処理する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	巡回回数	回	12	12	12	12
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

不法投棄物を処理することにより、道路の機能及び景観を維持するとともに、更なる不法投棄の発生を抑制する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	不法投棄物延べ処理件数	件	293	295	201	300
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	4,400	4,400	4,400	4,400
正職員人件費 (B)		千円	769	381	380	388
総事業費 (A+B)		千円	5,169	4,781	4,780	4,788

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	道路敷地に不法投棄された廃棄物について、巡回のうえ回収、運搬、処理を実施。	・委託費	4,400 千円

**事業開始背景**

市の家庭系ごみの収集が平成16年10月より原則有料となり、不法投棄が増加すると予想されたことから、その対策として実施してきたもの。

**事業を取り巻く環境変化**

家庭系ごみの有料化や家電製品等のリサイクル料金の発生など不法投棄の誘因が増加している。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	定期的な巡回を行い、不法投棄物を適切に処理することにより、安全で快適な道路環境を維持している。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	不法投棄禁止に関する啓発活動の拡大や意識の醸成により、不法投棄そのものが減少する余地はある。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	最低限の巡回回数にするなど、これまでも経費削減に努めてきており、これ以上のコスト削減は難しい。
	なし		

事業名：道路橋梁管理経費（臨時）

土木事務所道路管理課維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市道総延長	km	837	837	837	838
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

老朽化した道路施設の改修や再整備工事

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	実施延長	km	2.3	3.4	3.3	3.6
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路施設を常に良好な状態に保ち道路の走行性及び安全性を確保し、道路利用者が安心して通行できる道路環境を維持する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	不具合件数（市民からの苦情・要望件数）	件	724	732	726	700
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	403,279	363,556	468,753	490,487
正職員人件費 (B)		千円	13,837	13,732	15,214	16,313
総事業費 (A+B)		千円	417,116	377,288	483,967	506,800

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事路線現況測量委託</li> <li>・ 路面凍上改修工事</li> <li>・ 道路再整備工事</li> <li>・ 農村地区舗装新設工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委託費</li> <li>・ 工事費</li> </ul>	11,756 千円 452,462 千円

**事業開始背景**

老朽化が進行している道路施設の改修や再整備、未整備路線の道路整備などを行うために事業を開始した。

**事業を取り巻く環境変化**

近年、車社会の発展により、道路の安全に対する市民の関心が高まっており、老朽化した道路施設の改修や再整備、更新が強く望まれている。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	老朽化した道路施設の改修や再整備、未整備路線の道路整備を実施することで、着実に道路環境の向上が図られている。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	事業規模を増大することにより成果が向上する余地はある。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	これまでも経費削減の工夫を重ねてきており、これ以上のコスト削減は難しい。
	なし		



事業名：道路橋梁管理経費（経常）

土木事務所道路管理課維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市道総延長	km	837	837	837	838
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

道路施設の維持及び損傷個所の補修や復旧対応

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	市道管理延長	km	837	837	837	838
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路施設を常に良好な状態に保ち、道路の走行性及び安全性を確保し、道路利用者が安心して通行できる道路環境を維持する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	不具合件数（市民からの苦情・要望件数）	件	724	732	726	700
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	146,274	149,977	152,999	156,000
正職員人件費 (B)		千円	9,609	8,392	8,368	9,322
総事業費 (A+B)		千円	155,883	158,369	161,367	165,322

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>路面清掃業務委託</li> <li>幹線道路草刈業務委託</li> <li>道路維持業務委託</li> <li>舗装補修工事</li> <li>補充用砂利、舗装補修用常温合材の購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託費</li> <li>工事費</li> <li>原材料費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>60,000 千円</li> <li>76,000 千円</li> <li>16,999 千円</li> </ul>

<b>事業開始背景</b>
安全な道路環境を維持するため、パトロールや清掃、損傷箇所の補修を行う必要があることから事業を開始した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
老朽化が進行した道路施設の補修や修繕の要望が増加している。

<b>令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）</b>	
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>	
成果動向及び原因分析	上がっている
	<b>どちらかといえば上がっている</b>
	上がっていない
理由根拠	道路施設全般で老朽化が進行していることから、緊急性や危険性の高い損傷から優先的に補修等を実施し、道路の安全性の確保に努めている。
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>	
成果向上余地	成果向上余地 大
	<b>成果向上余地 中</b>
	成果向上余地 小
理由根拠	事業規模を増大することにより成果が向上する余地はある。
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>	
コスト	ある
	<b>なし</b>
理由根拠	これまでも経費削減の工夫を重ねてきており、これ以上のコスト削減は難しい。

政策	05 都市基盤	戦略						
取組の基本方針	02 交通環境の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

路面融雪施設

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	ロードヒーティング延長	m	1,416.6	1,416.6	1,388.2	1,388.2
対象指標 2	ロードヒーティング面積	m <sup>2</sup>	7,812.8	7,812.8	7,651.7	7,651.7

手段（事務事業の内容、手法）

冬期間において巡回、点検を実施し、正常に作動しているかの確認を行う。  
更新計画を策定し、老朽化した施設を更新するなど効果的・効率的な運用に努める。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	巡回・点検回数	回	16	16	16	16
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

ロードヒーティングの適切な維持管理により冬期間の安全で円滑な交通を確保する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	不具合件数（点検結果）	件	6	5	4	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	38,668	40,644	40,127	40,215
正職員人件費 (B)		千円	769	763	761	777
総事業費 (A+B)		千円	39,437	41,407	40,888	40,992

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>光熱水費</li> <li>施設等修繕</li> <li>点検業務委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>光熱水費 36,110 千円</li> <li>施設等修繕費 3,203 千円</li> <li>委託費 779 千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>
平成3年度からのスパイクタイヤ使用禁止に伴い、道路勾配の急な交差点における交通安全の確保のため事業が開始された。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
スタッドレスタイヤの性能向上に伴い、電気料金節減のため緩勾配箇所などでロードヒーティングを稼働しない自治体が出てきている。

<b>令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）</b>		
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	<b>どちらかといえば上がっている</b>	
	上がっていない	
ロードヒーティング敷設箇所の安全性は確保されており、一定の成果が上がっている。		
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	<b>成果向上余地 小</b>	
ロードヒーティング敷設箇所の安全性は確保されており、これ以上の向上の余地は小さい。		
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>		
コスト	ある	理由 根拠
	<b>なし</b>	
これまでも経費節減のため工夫を重ねてきており、これ以上のコスト削減は難しい。		

事業名：橋梁長寿命化事業

土木事務所道路管理課維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道の橋梁

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	橋梁（市道）	橋	147	147	147	147
対象指標 2	修繕が必要な橋梁数	橋	38	38	38	38

手段（事務事業の内容、手法）

- ・江別市橋梁長寿命化修繕計画（平成25年2月19日策定）に基づき修繕工事を実施する。
- ・各橋梁について、5年に1度の近接目視による点検を実施する。
- ・道路メンテナンス事業補助制度を活用し実施する。（補助率6/10）  
（令和3年度より活動指標2を追加）

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	当該年度修繕対象橋梁数（完了）	橋	1	2	8	7
活動指標 2	橋梁点検数	橋	0	0	21	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

計画的な予防修繕により、橋梁の延命化（長寿命化）を図ることで修繕費等を縮減する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	修繕工事が完了した橋梁の割合	%	36.8	42.1	63.2	76.3
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	123,715	200,863	181,303	135,000
正職員人件費 (B)		千円	7,687	7,629	9,128	9,322
総事業費 (A+B)		千円	131,402	208,492	190,431	144,322

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁点検委託</li> <li>・橋梁修繕実施設計委託</li> <li>・橋梁修繕工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託費</li> <li>・工事費</li> </ul>	76,263 千円 90,010 千円

**事業開始背景**

江別市が管理する橋梁147橋のうち、江別市が大きく発展した1970年～1990年代に建設された橋梁が129橋で全体の80%以上を占めており、20年後には建設後50年を経過する橋梁の割合が50%を超え、老朽化した橋梁の急速な増大が予想される。  
このため老朽化対策やコスト縮減への取組みとして江別市橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画的な修繕に着手することとした。

**事業を取り巻く環境変化**

- ・長寿命化修繕計画策定事業費補助制度要綱（平成19年4月2日国土交通省施行）
- ・市町村を対象とした長寿命化修繕計画策定費の支援は、平成19年度～平成25年度
- ・当該計画に基づく修繕工事は、国の補助事業導入が可能となる。
- ・道路法施行規則の一部改正に基づき実施した橋梁点検結果を踏まえ、令和5年度までに修繕が必要な橋梁数を46橋から38橋に変更。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	▶	概ね計画に沿って事業が進捗しているため。
	どちらかといえば上がっている			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	これまで国の補助事業制度を活用し事業を実施してきており、概ね計画に沿って事業が進捗しているため。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	▶	これまで国の補助事業制度を活用し事業を実施してきており、これ以上のコスト削減は難しい。
	なし			

事業名：道路施設再整備事業

【事業番号 6152】

土木事務所道路管理課維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

道路施設全般

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	道路施設数	箇所	212	212	212	212
対象指標 2	対象道路延長	km	247	247	247	247

手段（事務事業の内容、手法）

舗装や擁壁などの道路施設全般について、点検や調査を行い、損傷度などを踏まえ改修や修繕を実施する。社会資本整備総合交付金、道路メンテナンス事業補助制度を活用し実施する。（補助率6/10）

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	道路施設点検件数	箇所	0	2	0	0
活動指標 2	道路路面調査延長	km	0	247	0	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

老朽化が進行する道路施設全般について、点検や調査を行い、損傷度などを踏まえ改修や修繕を実施することにより、道路利用者や第三者への被害を防止する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	改修、修繕箇所数	箇所	0	0	2	0
成果指標 2	改修、修繕延長	km	2.5	1.5	0.9	2.1

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	83,354	129,803	150,916	82,500
正職員人件費 (B)		千円	4,612	7,629	6,086	6,214
総事業費 (A+B)		千円	87,966	137,432	157,002	88,714

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大麻アンダーパス修繕工事実施設計委託</li> <li>・大麻アンダーパス修繕工事</li> <li>・排水整備工事</li> <li>・舗装修繕工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託費</li> <li>・工事費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5,445 千円</li> <li>140,822 千円</li> </ul>

**事業開始背景**

道路ストック点検等の法定点検が義務化され、その点検結果を踏まえた修繕や更新を実施するため事業が開始された。

**事業を取り巻く環境変化**

道路施設全般について老朽化が進行し、対象となる道路施設や路線が増加する傾向にある。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	▶	点検結果に基づき、概ね計画に沿って事業が進捗しているため。
	<b>どちらかといえば上がっている</b>			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	これまで国の交付金事業や補助事業を活用し事業を実施しており、概ね計画に沿って事業が進捗しているため。
	<b>成果向上余地 中</b>			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	▶	これまで国の社会資本整備総合交付金や補助事業制度を活用し事業を実施しており、これ以上のコスト削減は難しい。
	<b>なし</b>			



事業名：道路橋梁再整備事業

【事業番号 6173】  
都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する道路のうち再整備が必要な幹線道路等

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	事業路線の全体整備延長	km	1.05	1.67	1.55	0.45
対象指標 2	事業路線数	路線	1	3	3	1

手段（事務事業の内容、手法）

- ・経年劣化などにより損傷した路線について、道路改良や舗装新設などの必要な再整備を実施する。
- ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6/10）

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	当該年度の工事延長	km	0.61	0.88	0.54	0.25
活動指標 2	当該年度の実施路線数	路線	1	3	3	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・損傷した路線の再整備を行い、車両や歩行者の安全で快適な道路環境を確保する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	事業路線のうち整備済みの道路延長	km	0.61	1.49	0.81	0.45
成果指標 2	事業路線のうち整備が完了した路線数	路線	0	2	1	1

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	60,225	121,644	84,751	35,500
正職員人件費 (B)		千円	6,918	8,392	8,368	6,214
総事業費 (A+B)		千円	67,143	130,036	93,119	41,714

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元江別178号道路外改修工事（元江別178号道路、元江別1号幹線）</li> <li>・東野幌本町23号道路改修工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元江別178号道路外改修工事 53,878千円</li> <li>・東野幌本町23号道路改修工事 30,734千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

中心市街地と住宅地を連結する重要な幹線道路において、冬期間の凍上や老朽化等により悪化した路面状況が、車両等の通行に支障となっていることから、安全・快適な通行環境を確保する取り組みとして再整備事業に着手することとなった。

**事業を取り巻く環境変化**

- ・路面性状調査等の結果により、国の補助事業導入が可能な場合がある。

**令和 3 年度の実績による担当課の評価（令和 4 年度7月時点）**

成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	理由 根拠	上がっている どちらかといえば上がっている 上がっていない
	社会資本整備総合交付金を活用し、概ね予定どおり事業が進捗している。	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	理由 根拠	成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小
	社会資本整備総合交付金の配分額により、事業が進捗する余地はある。	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	理由 根拠	ある なし
	社会資本整備総合交付金を活用するとともに、北海道土木積算システムの導入により事務処理の効率化を図っており、更なるコスト削減は難しい。	

事業名：道路橋梁新設改築事業

【事業番号 6211】  
都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する道路のうち整備が必要な幹線道路等

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	事業路線の全体整備延長	km	0.47	2.84	2.84	3.85
対象指標 2	事業路線数	路線	1	4	4	5

手段（事務事業の内容、手法）

- ・幹線道路等について、新設のほか拡幅や歩道造成などの必要な整備を行う。
- ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6/10、新設は5/10）

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	当該年度の工事延長	km	0	0	0.66	0.36
活動指標 2	当該年度の実施路線数	路線	1	4	4	5

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・幹線道路等の必要な整備を行い、車両や歩行者の安全で快適な道路環境を確保する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	事業路線のうち整備済みの道路延長	km	0	0	0.66	1.02
成果指標 2	事業路線のうち整備が完了した路線数	路線	0	0	0	0

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	32,469	120,937	338,539	263,042
正職員人件費 (B)		千円	6,150	12,206	12,171	14,759
総事業費 (A+B)		千円	38,619	133,143	350,710	277,801

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	・元江別66号道路整備工事	・元江別66号道路整備工事	55,913千円
	・兵村4丁目通り整備工事	・兵村4丁目通り整備工事	65,241千円
	・元江別中央通り新設工事	・元江別中央通り新設工事	62,007千円
	・元江別66号道路 用地取得・物件補償	・元江別66号道路 用地取得・物件補償	106,801千円
	・兵村4丁目通り 用地取得・物件補償	・兵村4丁目通り 用地取得・物件補償	14,073千円
	・元江別中央通り 用地取得・物件補償	・元江別中央通り 用地取得・物件補償	32,745千円

**事業開始背景**

市内を東西に走る生活幹線道路（通称、百間境道路）については、総延長が約10kmあり、幹線道路を補う重要な路線として位置づけられて整備が進められてきたが、近年は用地や財源の問題などにより、3路線約0.9kmが未整備のまま残されており、地元自治会からは早期の整備要望が寄せられていた。  
平成28年3月、野幌住吉町内の私道路について寄付採納により市道となったことで、元野幌274号道路については、補助事業での整備が可能となり事業着手することとなった。

**事業を取り巻く環境変化**

平成26年 4月 元江別66号道路の整備要望が、自治会より寄せられる。  
平成26年10月 元江別66号道路の整備について、沿線住民に意向調査を実施。  
平成28年 3月 元野幌274号道路に接続する私道路が、寄付採納により市道となり、補助事業での整備が可能となる。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

		<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>	
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	社会資本整備総合交付金を活用し、概ね予定どおり事業が進捗している。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		
		<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>	
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	社会資本整備総合交付金の配分額により、事業が進捗する余地はある。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		
		<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>	
コスト	ある	理由根拠	社会資本整備総合交付金を活用するとともに、北海道土木積算システムの導入により事務処理の効率化を図っており、更なるコスト削減は難しい。
	なし		